

株式会社 トリケミカル研究所
第47期(2025年1月期)
決算説明資料

東京証券取引所
証券コード:4369

1. 2025年1月期業績

単位：百万円

	(ご参考) 24.1期	25.1期	増減額	増減率
売上高	11,246	18,905	+7,659	68.1%
営業利益	1,947	5,256	+3,308	169.8%
経常利益	3,276	6,583	+3,306	100.9%
当期純利益	2,470	4,961	+2,491	100.8%

売上高・各利益とも過去最高
前年のメモリ不況より回復・中国向け売上の急成長
経常利益に持分法投資利益1,309百万円

単位：百万円

	25.1期末	(ご参考) 24.1期末	増減額
流動資産	21,456	19,008	2,447
固定資産	15,488	12,856	2,631
資産合計	36,944	31,864	5,079
流動負債	4,182	2,553	1,628
固定負債	1,174	1,740	-566
負債合計	5,356	4,294	1,062
株主資本	30,748	26,761	3,986
その他包括利益累計額	839	808	30
純資産合計	31,587	27,570	4,017
負債純資産合計	36,944	31,864	5,079

主な増減要因

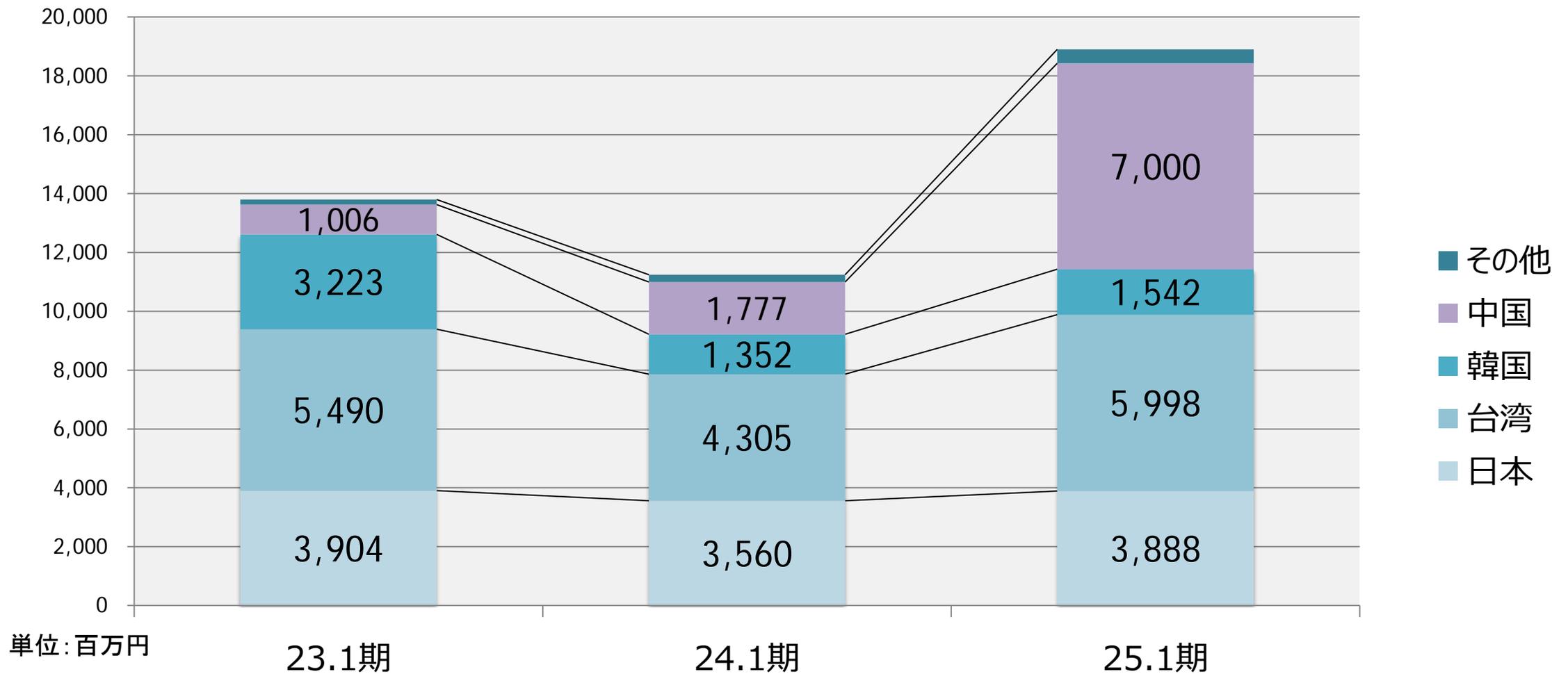
流動資産	棚卸資産の増加	+1,953
	売掛債権の増加	+1,184
	現金及び預金の減少	-1,058
固定資産	南アルプス事業所建設に伴う 建設仮勘定の増加	+1,797
	持分法投資利益の計上に伴う 投資有価証券の増加	+945
流動負債	未払法人税等の増加	+1,059
	買掛金の増加	+615
固定負債	長期借入金の減少	-489
純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+3,987

単位:百万円

	25.1期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,620
現金及び現金同等物の増減額	-1,058
現金及び現金同等物の期末残高	9,439

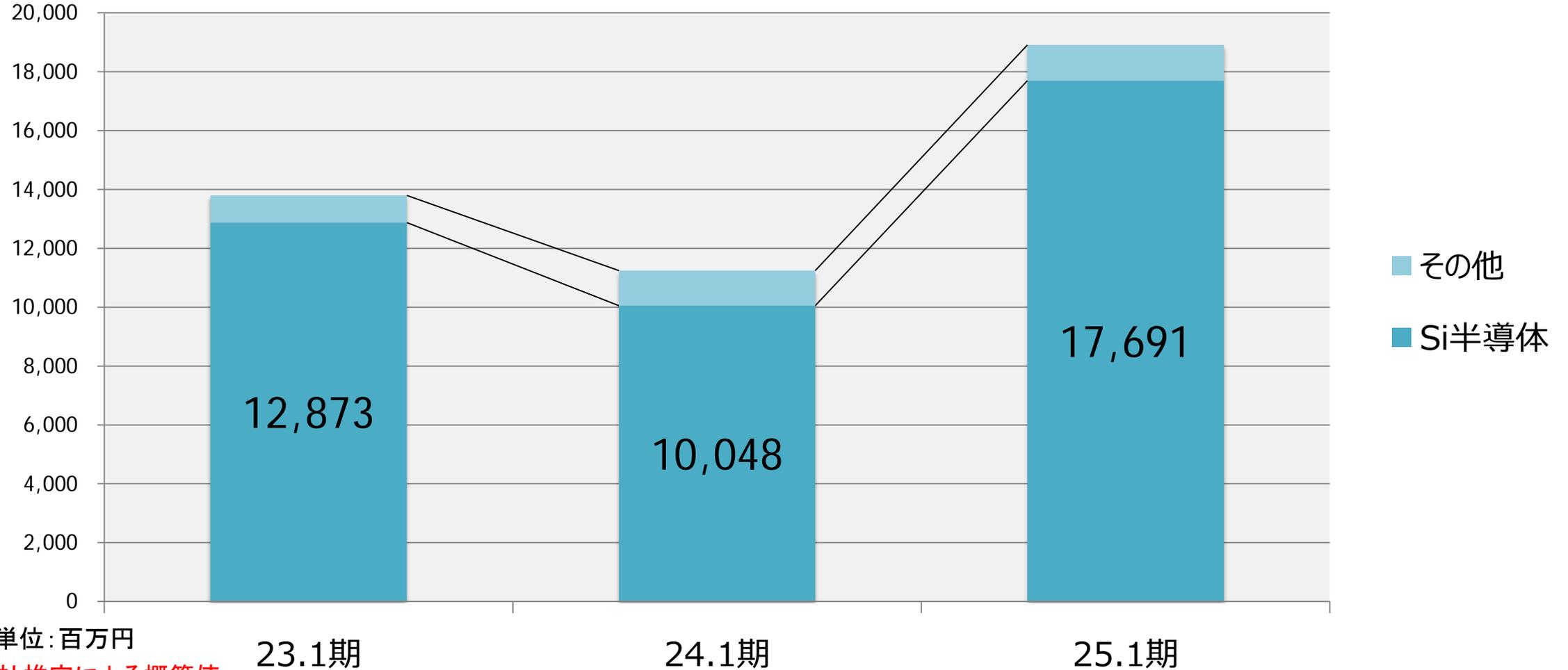
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+6,583
	棚卸資産の増加額	-1,950
	持分法による投資利益	-1,309
投資CF	有形固定資産の取得	-3,069
財務CF	配当金の支払額	-974
	借入金の返済・調達	-537



※当社推定による概算値

中国向けの大幅増・台湾向けも過去最高の水準



半導体向け売上が大幅に増加

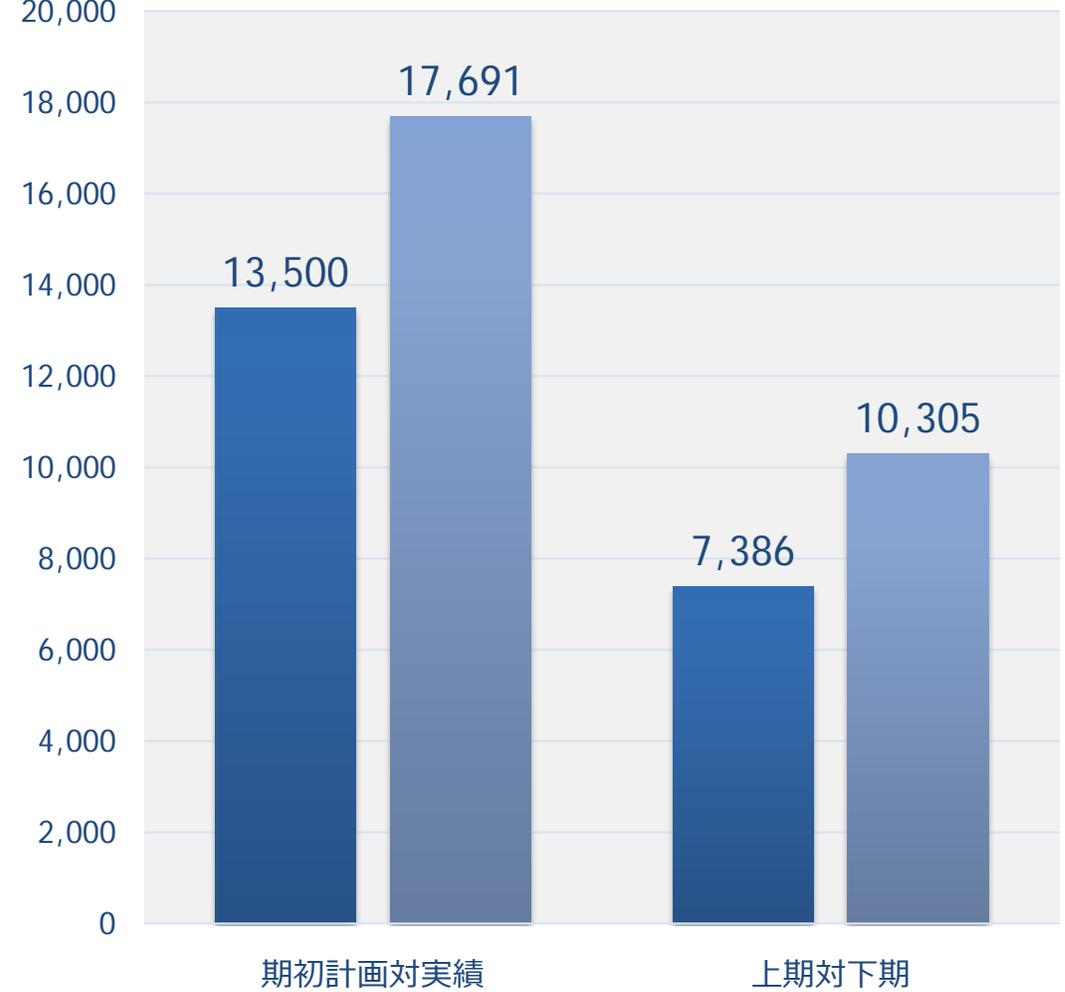
単位:百万円

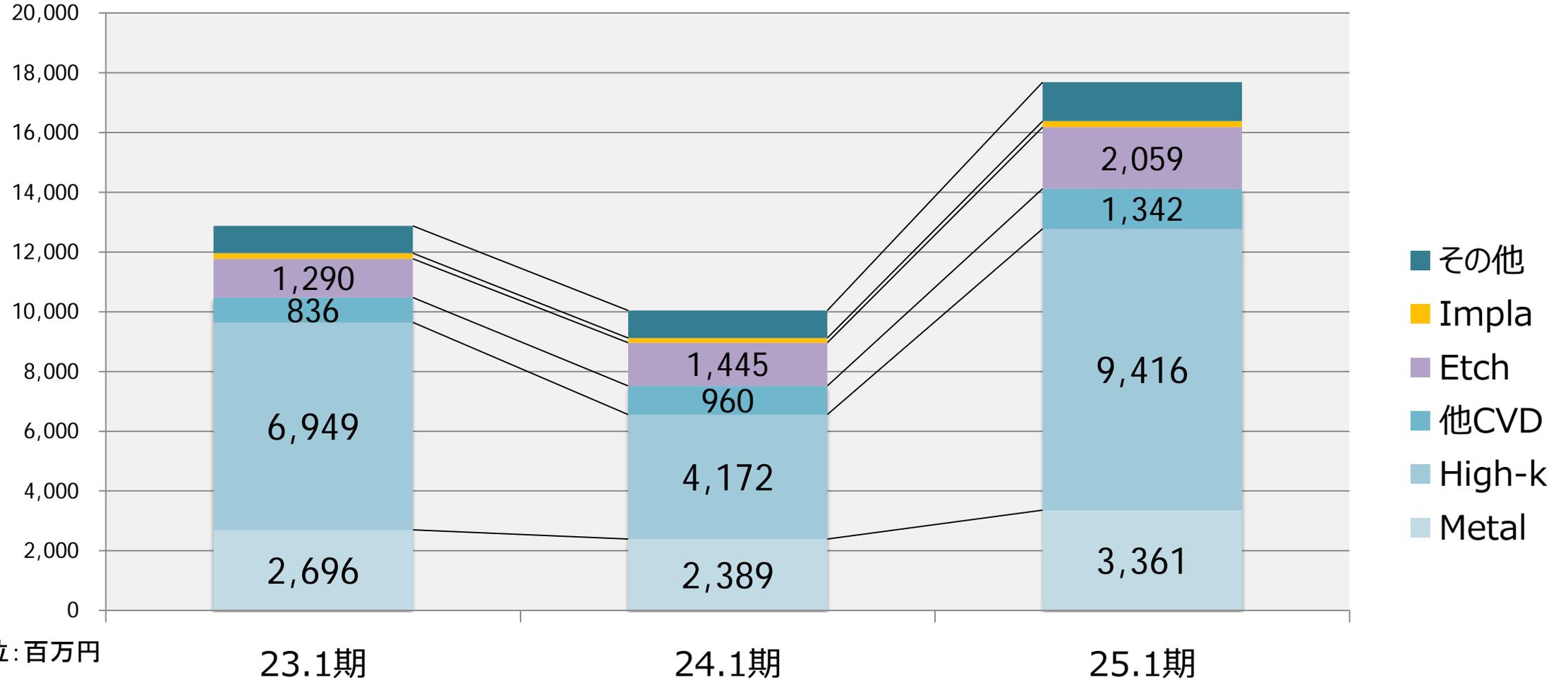
地域別売上



単位:百万円

Si半導体向け売上

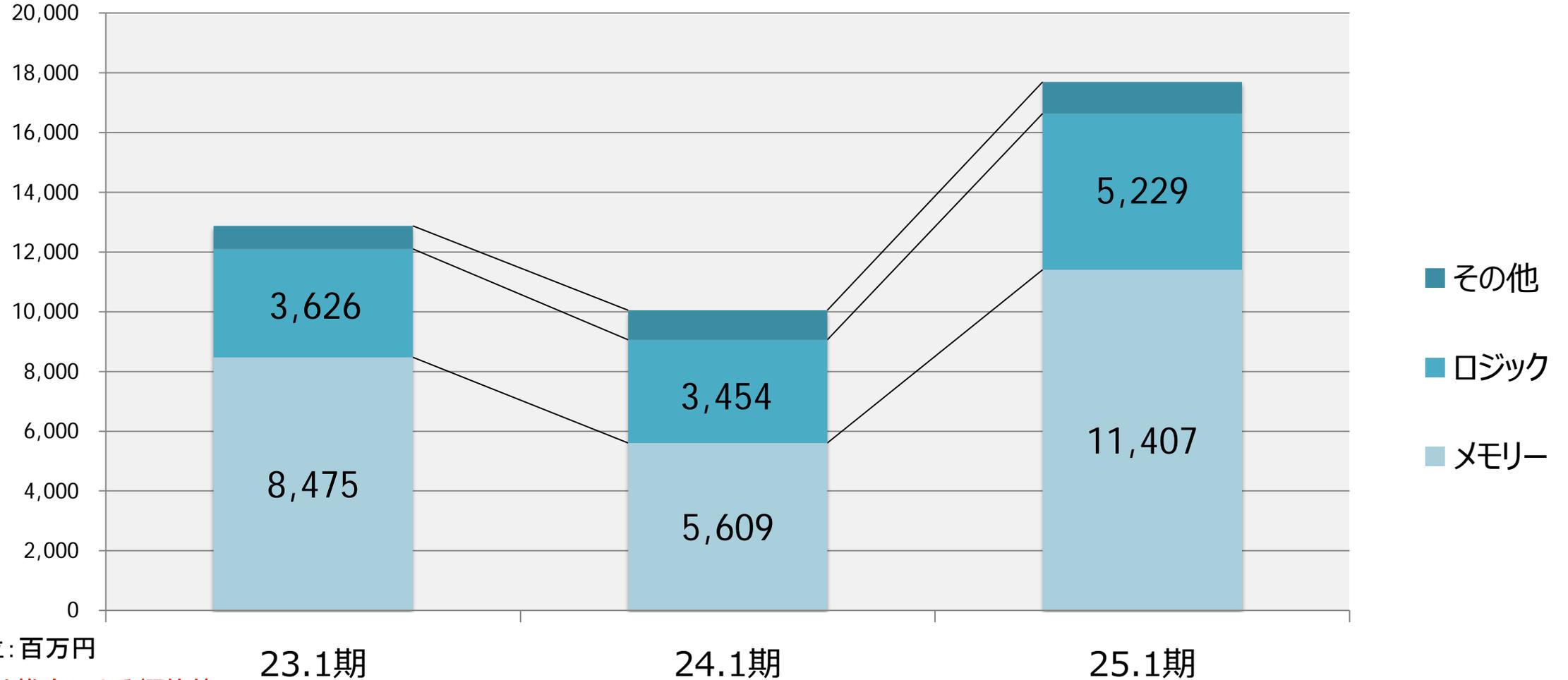




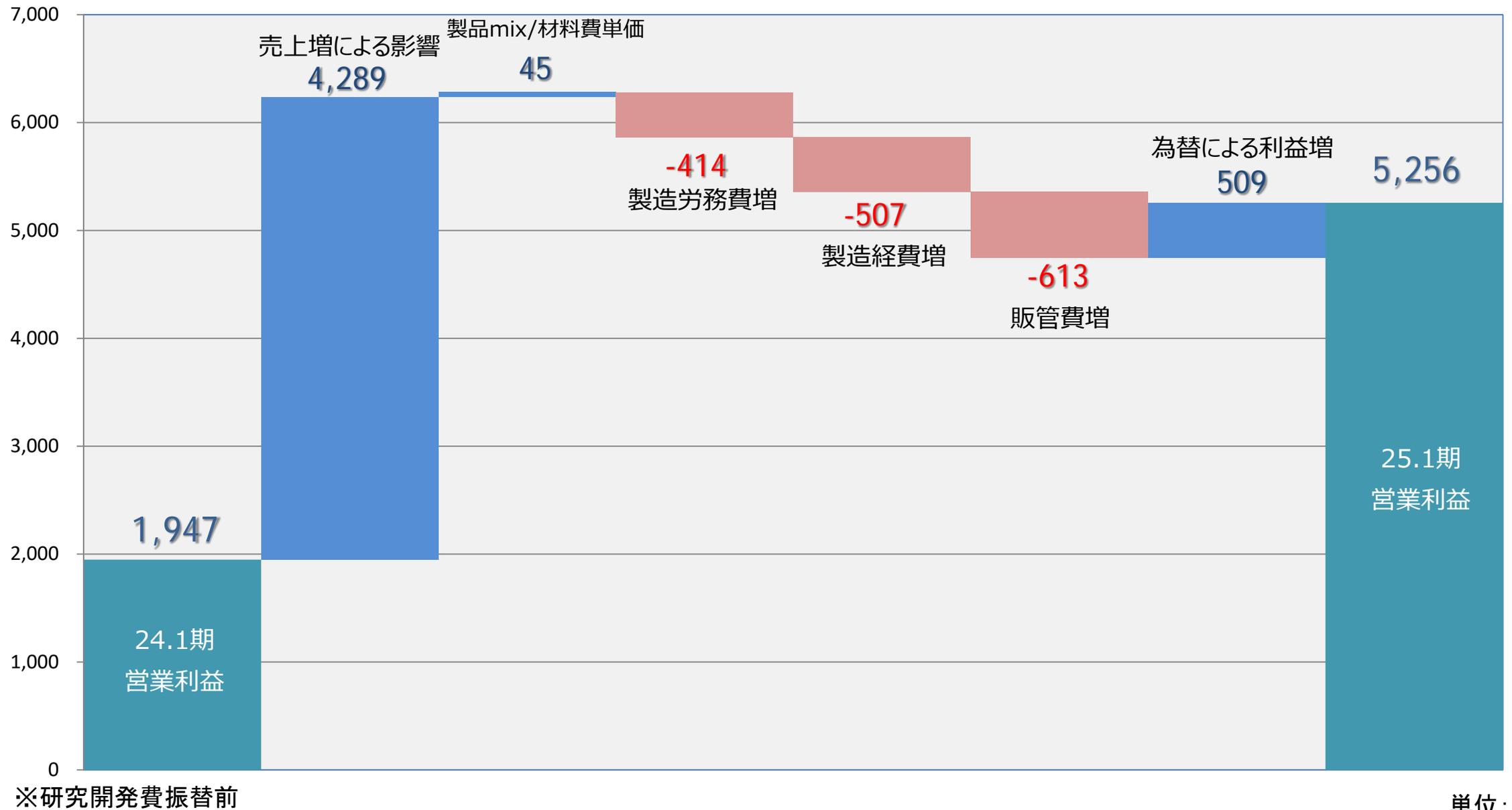
単位:百万円

※当社推定による概算値

DRAM向けHigh- k 材料を中心とした成長



メモリー・ロジック向けともに過去最高を更新



2. 2026年1月期業績計画

単位：百万円

	25.1期実績	26.1期計画	(ご参考) 増減率
売上高	18,905	26,000	37.5%
営業利益	5,256	6,050	15.1%
経常利益	6,583	6,900	4.8%
当期純利益	4,961	5,000	0.8%

為替は140円/米ドルに設定 (26.1期営業利益感応度は1円≒45百万円)

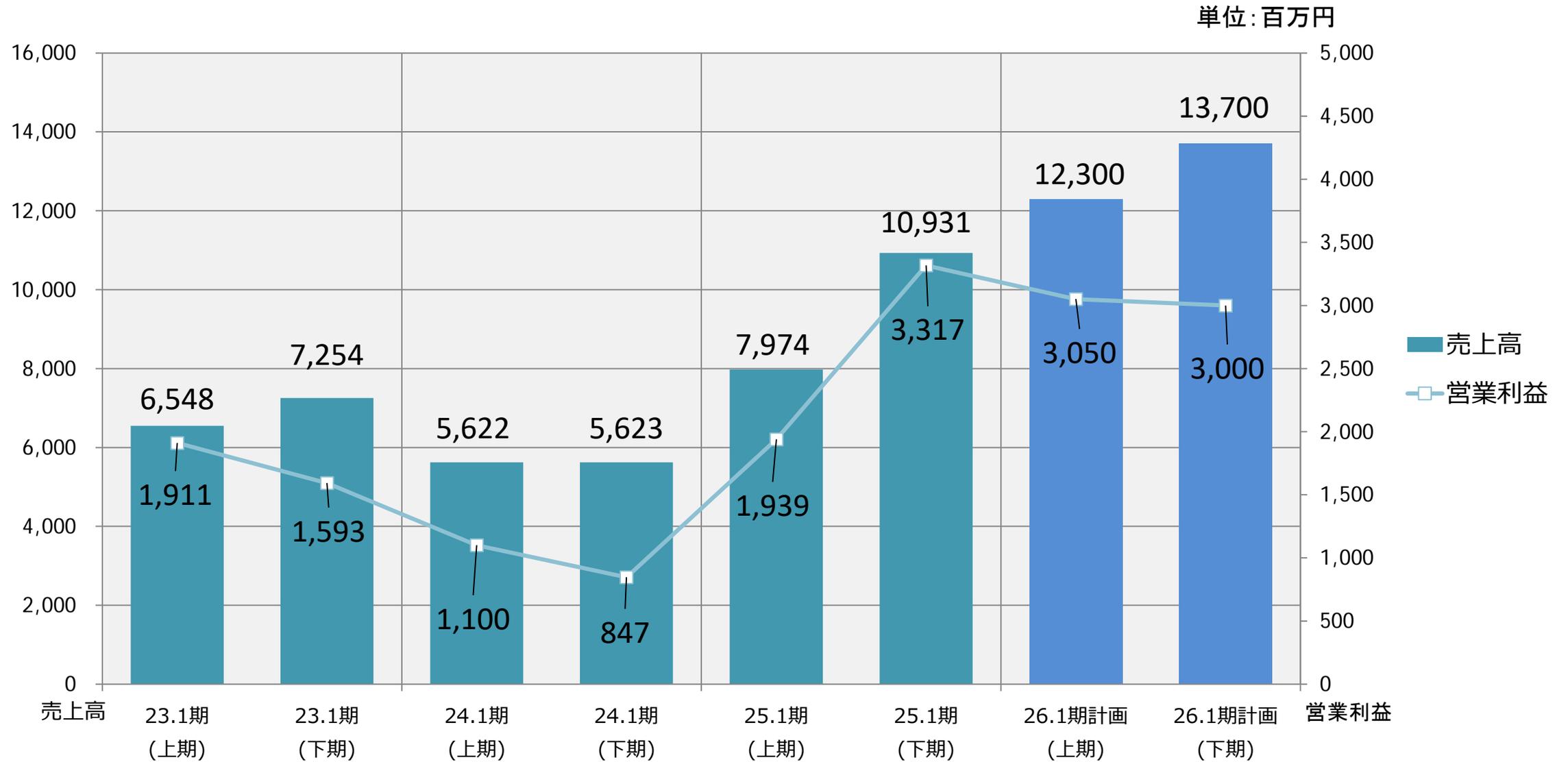
- ・中国向けを中心に売上は大幅増の見込み
- ・原料高騰の影響等を受け持分法投資利益13億→9億

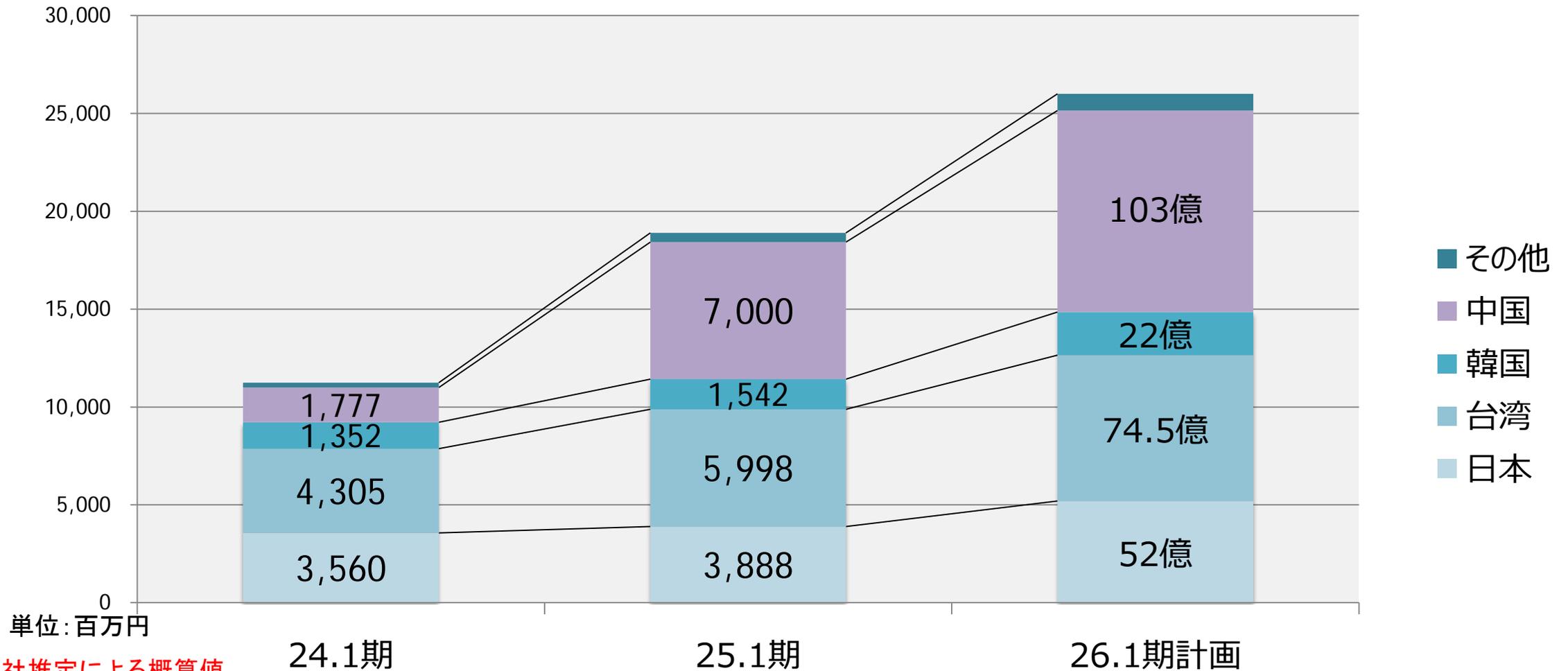
外部環境

- 主力製品を中心に原材料費の大幅高騰の影響
- メモリ向けを中心に中国向け売上は大幅増の見込み
- ロジック半導体向けはAI用途を中心に好調に推移

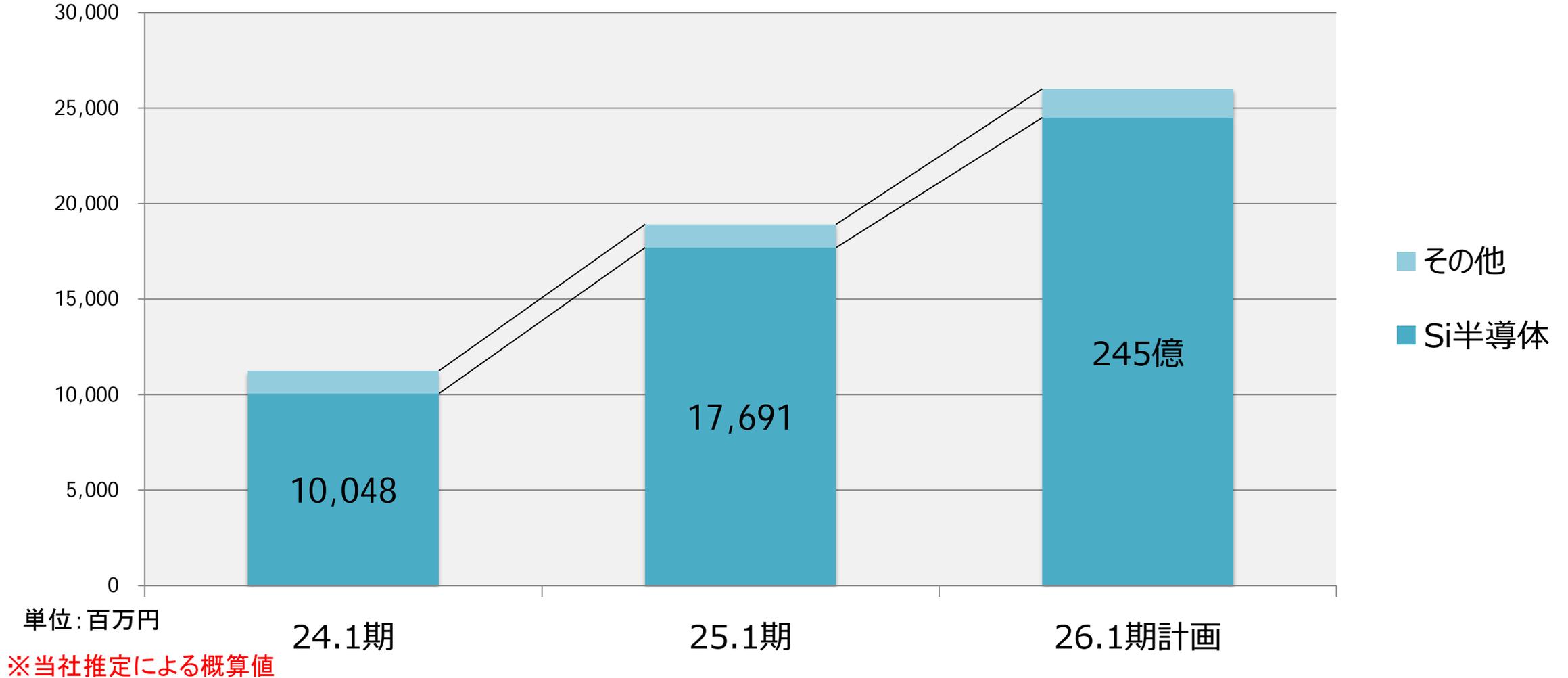
今期の取り組み

- 南アルプス事業所の早期立ち上げ、出荷開始を目指す
- 半導体・製造装置メーカー等と連携した次世代半導体向け材料の開発
- 生産の効率化、安全・品質管理の強化
- 台湾子会社の出荷増に向けた活動の継続

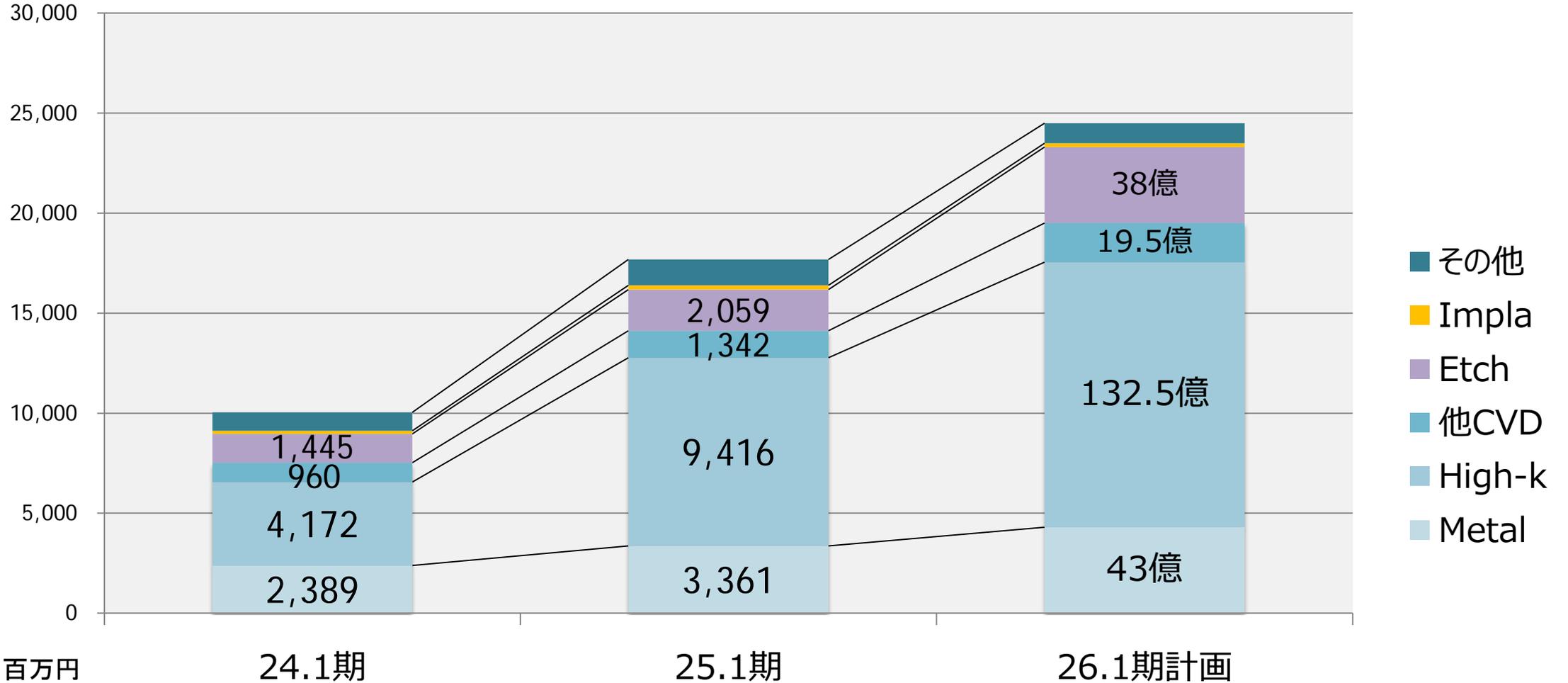




中国向けを中心に各国とも好調に推移する見通し

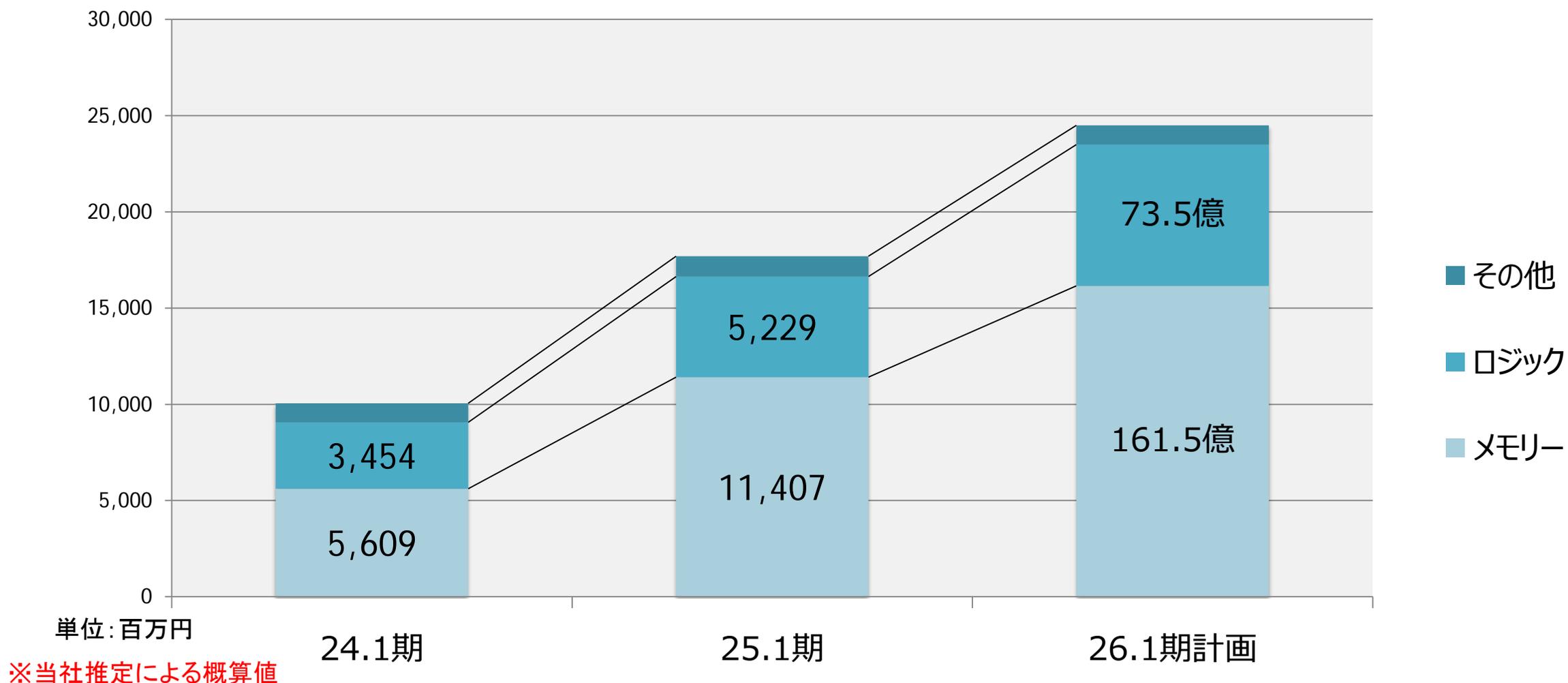


主力の半導体向け材料の大幅増

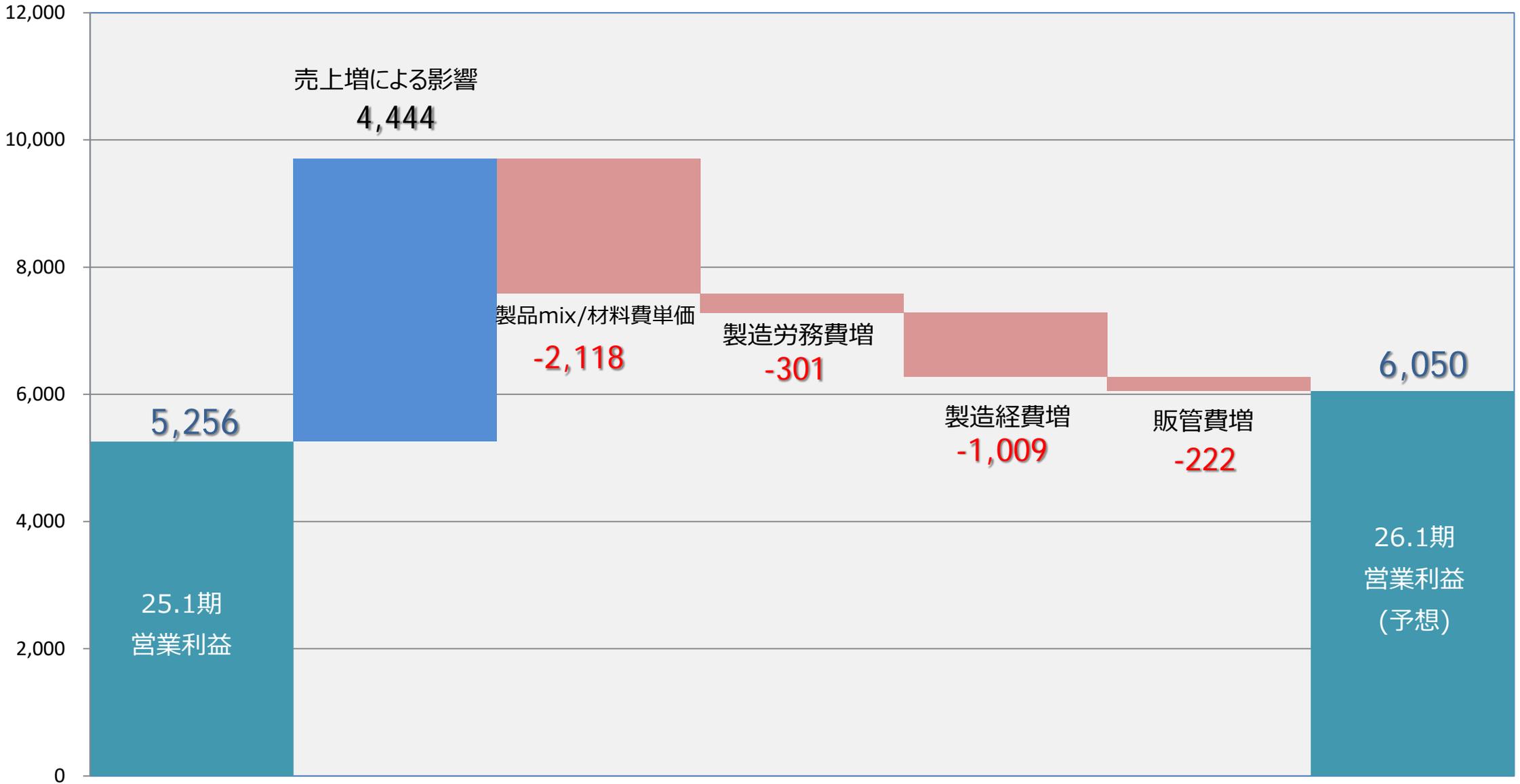


単位:百万円
 ※当社推定による概算値

エッチング材料・CVD系材料を中心に成長



メモリー向け・ロジック向けともに40%超の成長



※研究開発費振替前

単位:百万円

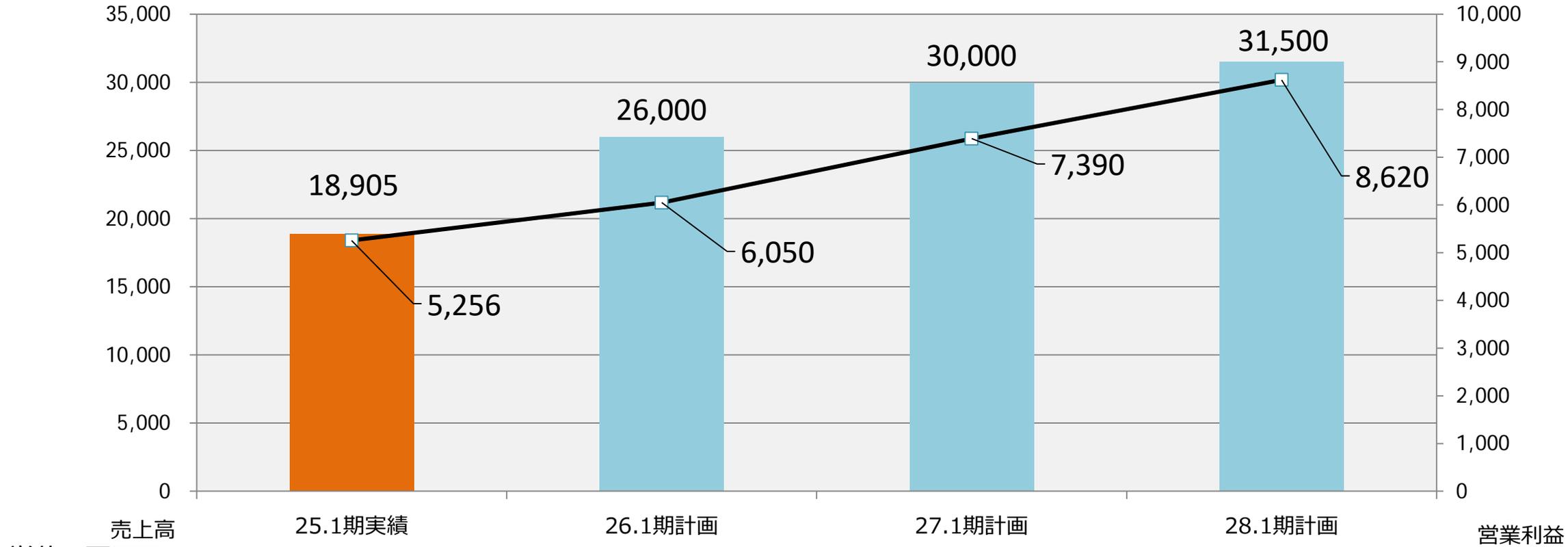
3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 半導体業界は概ね堅調に推移
2. 為替は1米ドル = 140円に設定
3. 現時点で予測される購入・販売価格の変動は織り込み済み
4. 南アルプス事業所竣工・稼働開始
5. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	26.1期	27.1期	28.1期	3期合計
投資総額	9,415	5,270	1,846	16,531
償却費総額	1,901	2,641	2,979	—

6. 増員計画 20名程度/毎期の増員
7. 持分法損益 3年ともに900百万円/年を持分法利益として見込む



売上高
単位：百万円

営業利益

	25.1期実績	26.1期計画	27.1期計画	28.1期計画
売上高	18,905	26,000	30,000	31,500
営業利益	5,256	6,050	7,390	8,620
経常利益	6,583	6,900	8,200	9,430
当期純利益	4,961	5,000	5,900	6,760

	25.1期実績	26.1期計画	27.1期計画	28.1期計画
売上高	18,905	26,000	30,000	31,500
営業利益	5,256	6,050	7,390	8,620
売上高増加額	—	7,094	4,000	1,500
売上高 営業利益率	27.8%	23.3%	24.6%	27.4%

単位：百万円

営業利益率25%程度の維持を目標

外部環境

- 半導体業界は概ね堅調に推移
- 中国向けは現地競争も出てくると仮定
- 半導体微細化・高性能化により新規プロセス・材料の導入
→次世代半導体に向けた新材料ニーズ・高性能化の需要は継続

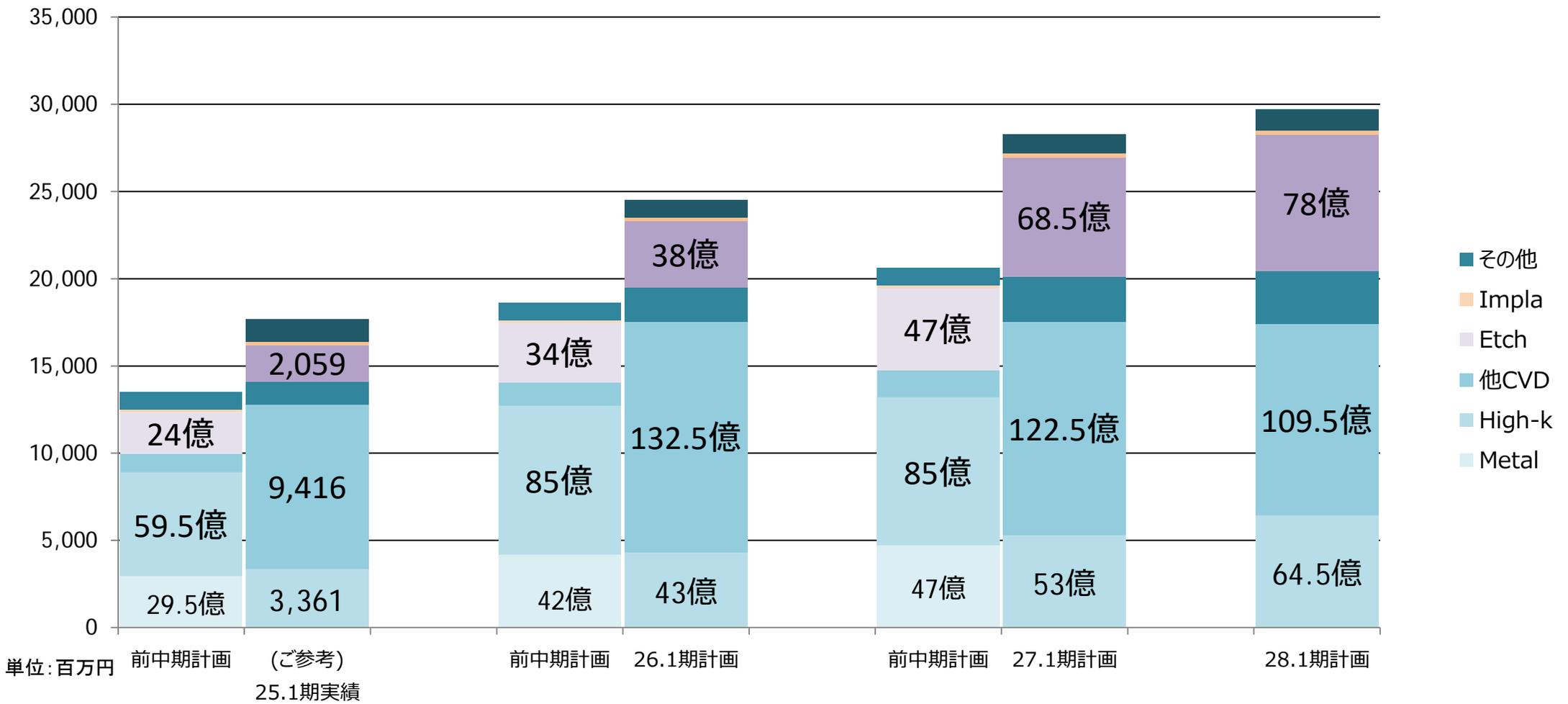
当社の取り組み

- グループにおける生産・開発能力向上を継続
先端NAND・CoWoS向け等新規材料を中心とした量産体制構築
南アルプス事業所の早期立ち上げと生産能力向上
台湾子会社工場の生産能力・韓国関係会社との連携強化
安全・品質・コスト管理体制の向上
拠点の増加に伴う事業継続計画の改善・サステナビリティ活動の追求



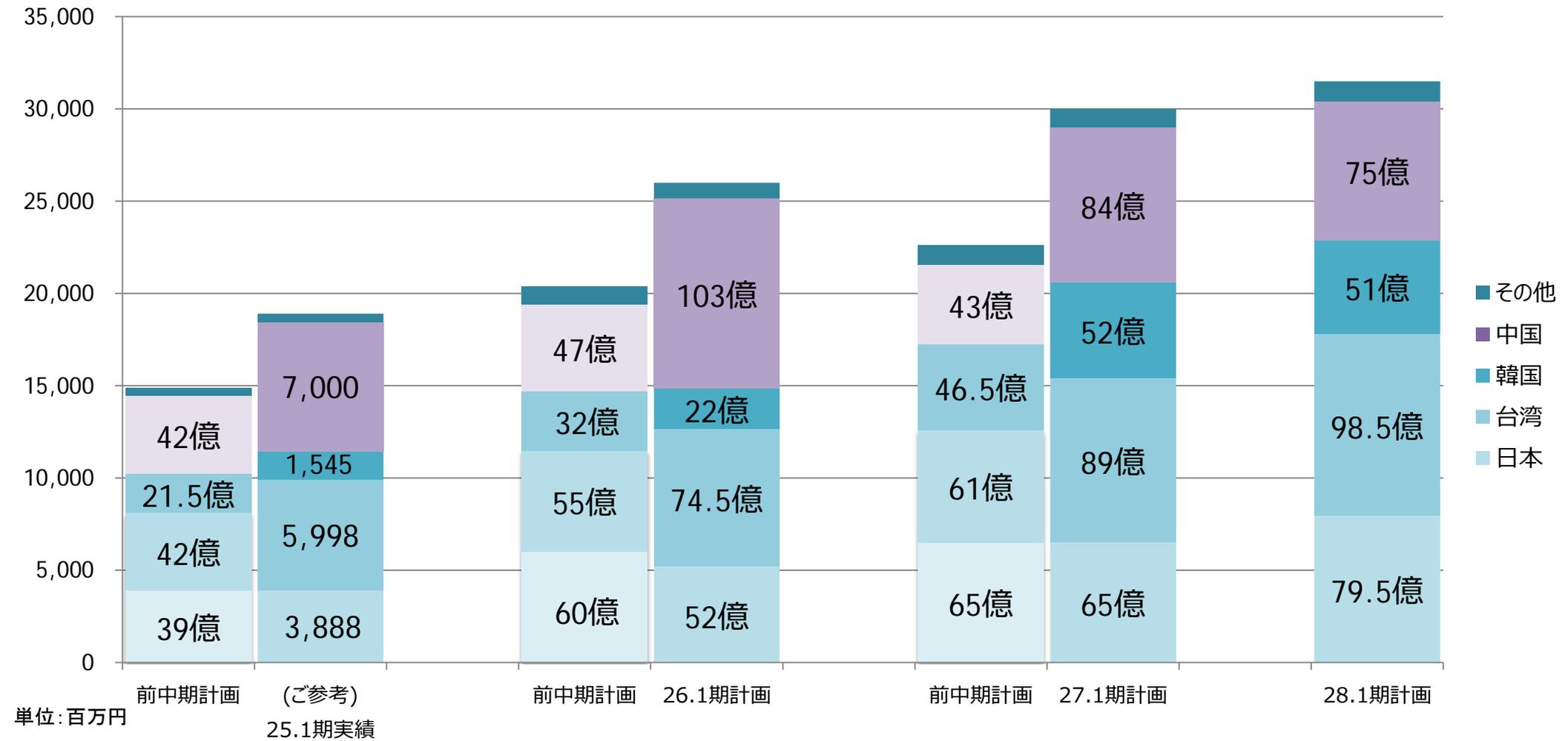
3月中に竣工・可及的速やかに稼働を開始する予定
次世代3D NAND用エッチング材料等を生産
今後成長の見込まれる新規素材の開発・量産拠点としても活用

中期販売計画(Si半導体)※前中期計画との比較含む



メタル・エッチング材料等を中心とした成長

中期販売計画(地域別)※前中期計画との比較含む



台湾・国内向け売上を中心に成長見込み

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。

あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com